

# 仕 様 書

## 1. 業務名

橿原市グランドデザイン策定業務

## 2. 業務期間

契約日の翌日から令和8年3月31日まで

## 3. 業務目的

橿原市が持続可能な発展を実現するために、地域の特性や課題を考慮しながら都市としてのブランド力を向上させることが不可欠である。その実現のためには、橿原市の都市機能などのあり方を検討しながら、そのポテンシャルを可視化し、戦略的に取り組んでいく必要があることから、特に、本市中心地の都市機能の適正な機能配置（近鉄大和八木駅周辺エリア）、橿原運動公園等既存スポーツ施設のリノベーションや大規模スポーツ施設の新たな整備、また世界遺産登録国内候補の構成資産の一つ「藤原宮跡」に至る東西軸の強化（新駅を中心としたエリア）、豊富な自然環境や貴重な歴史遺産を活用した機能配置（橿原神宮周辺エリア）等を活用し、観光、スポーツ、健康、文化芸術等と都市機能など各分野を有機的に繋げることで将来にわたる持続可能なまちづくりの指針となる地域全体にバランスのとれた「橿原市グランドデザイン」を策定することを目的とする。

## 4. 業務内容

本業務は、概ね30年後の本市の将来都市像を目標とする。尚、主な業務内容については以下のとおりである。

### （1）実施計画の作成

本業務を遂行する作業工程を示し、工程別に本業務の遂行に必要となる事項について、本市と調整を図り、適切な作業実施計画を作成する。

### （2）現況分析調査（ニーズ調査）

本市が策定した既存計画や各種統計資料等の活用、庁内各担当課・事業者等に対する聞き取り調査等を行い、広域的な立地特性、地域資源や課題現況などを分析する。

### （3）橿原市の持続可能性に資するエリア別や分野別のブランド戦略の検討

本市が提供する各種資料やエリア別のまちづくり優先度等の情報をもとに、観光トレンド・スポーツの嗜好等の社会情勢の変化や新たに設置する施設・世界遺産登録を見据えた検討、市民・関係人口・交流人口の観点からエリア別や分野別のブランド戦略の検討を行う。本市のまちづくり分野の計画（都市計画マスタープラン（第3次）、立地適正化計画等））との整合・調整を図る。

### （4）エリア別・分野別に都市機能の強化・導入の検討

エリア別・分野別にまちづくり案を検討し、現在備えられている機能と今後強化・

導入すべき機能の洗い出しを行う。

またコンパクトシティの観点から、都市全体の集約可能性を検討する。

(5) 市内周遊・長期滞在を促す観光・スポーツ戦略の検討

発注者が提供する各種資料やエリア別の既存計画等の情報をもとに、各エリアの資源をつなぐ有機的な交通手段やウォークアブルな導線を検討する。

また樫原市に長期滞在を促すスポーツコミッション等の実現可能性を検討する。

(6) 樫原市グランドデザイン素案の作成

現況分析や社会情勢等を踏まえた樫原市全体のグランドデザインを策定し、個別エリア（近鉄大和八木駅周辺、新駅を中心としたエリア、近鉄樫原神宮前駅周辺など）のまちづくりの方針に沿った整備案とイメージパース（各エリアで2〜3カット程度）を提案する。また、グランドデザイン素案を制作する。

(7) 事業者・関連団体等へのヒアリングの実施

計画策定にあたって幅広く意見を取り入れるため、事業者や関連団体等にヒアリングを実施し、潜在的な資源や課題に関する整理を行う。

(8) 議会等への報告書等作成

業務の進捗に合わせ、議会等への報告資料の作成を支援する。

(9) その他

受託者は、本市にとって有効な取り組み又は代替案の提案に努めるものとする。

その他、本市から指示があることについては、その都度協議を行い、業務に反映するように努めるものとする。

## 5. 守秘義務

- ・ 受託者は、本契約の履行により知り得た業務の内容を一切他に漏らしてはならない。また、本契約の履行後又は解除後も存続するものとする。
- ・ 受託者は、本契約により知り得た個人情報を一切第三者に提供してはならない。
- ・ 受託者は、個人情報を市が指示する目的以外に使用してはならない。
- ・ 受託者は、本契約の履行について、業務の全部または主要な部分を第三者に委託してはならない。
- ・ 受託者は、個人情報について複写または複製してはならない。
- ・ 受託者は、業務に関する個人情報について、保管の必要がなくなった時点で速やかに返還、廃棄又は消去しなければならない。
- ・ 受託者は、データの取扱いに当たっては、データの保護管理体制を徹底し、適正な管理を行い、個人情報の滅失、き損等の事故を防止しなければならない。

## 6. その他

- ・ 受託者が業務を遂行するにあたり必要となる経費は、契約金額に全て含まれるものとし、当市は、契約金額以外の費用を負担しない。
- ・ 受託者は、市と常に連携を保ちながら本業務を履行するものとし、変更が生じる可能性がある場合は、速やかに市に報告すること。

- ・ 受託者は、責任者及び担当者に変更が生じる場合は、速やかに市に報告するとともに必ずその承認を得ること。
- ・ 受託者は、業務内容に疑義が生じた場合は、速やかに市と協議の上、その指示に従わなければならない。
- ・ 市が必要と認めるときは、随時打合せを実施するものとする。
- ・ 事業実施過程で本仕様書の内容に変更の必要が生じた場合は、受託者に協議を申し出る場合がある。この場合、受託者は、委託料の範囲内において仕様書の変更に応じること。
- ・ 受託者は、第三者に業務を再委託する場合は、本市の承諾を得るものとする。
- ・ 本契約で作成された成果品の著作権及び著作権は、市が所有するものとする。
- ・ 業務委託契約締結後に、不測の事象が起きた場合は、双方協議の上必要な変更契約を締結するものとする。
- ・ 業務完了後、受託者の責に帰すべき理由による成果物の不備箇所が発見された場合は、市が必要と認める訂正、補正、その他必要な措置を行うものとし、これに要する経費は受託者の負担とする。

## 7. 権利関係

- (1) 本業務による出版権及び著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む。）は、全て発注者に帰属するものとし、受注者は発注者の許可なく他に複製・公表・貸与・使用してはならない。
- (2) 所有権及び著作権、肖像権について
  - ア 制作物が他者の所有権や著作権を侵すものでないこと。
  - イ 委託業務に関する所有権及び著作権は、原則としてすべて発注者に帰属することとし、権利関係を調整すること。
  - ウ 使用する写真・映像等の被写体が人物の場合、肖像権の侵害が生じないようにすること。

## 8. 成果品

- ・ 業務報告書
- ・ 市全体並びに個別エリア（近鉄大和八木駅周辺・新駅を中心としたエリア・橿原神宮周辺）等のパース絵のイラスト 10点程度
- ・ 計画素案（ファイル） 50部
- ・ その他、橿原市が指示するもの

## 9. 支払方法

支払いについては、設定された成果品の納品を確認検収の上、支払うものとする。  
（前払いなし）